

附属札幌中学校「学校だより」

# 藤 房

北海道教育大学  
附属札幌中学校

令和6年4月8日発行

No. 1

## 挨拶

校長 萬谷 隆一

お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。

附属札幌中学校は、4月5日に始業式、本日に入学式を無事に終え、全校生徒 335名、教職員42名でスタートいたしました。本年度も、本校に通う子どもたちのために、教職員一同、一丸となって精一杯努力して教育にあたる所存です。どうぞ、保護者の皆様の温かいご理解と、ご協力、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



## 式辞

日ごとに春の訪れが感じられるこの佳き日に、北海道教育大学附属札幌中学校に入学を許可された 108名の皆さん、ご入学おめでとうございます。

この三月まで小学生だった皆さんですが、今日から中学生になります。きっと期待と不安で胸をふくらませていることでしょう。心からお祝いの気持ちを伝えたいと思います。

附属札幌中学校は、七十八年の長い伝統を持ち、これまで 9295名の卒業生を輩出してきました。「清新」「進取」「斉正」「親和」という四つの目標、すなわち、清く正しく、積極的に、礼節を重んじ、仲間を大切にするという志を胸に、数多くの先輩たちがこの学校で育って行きました。皆さんの3年間で豊かな学びと出会いに満ちた日々となるよう、心から期待したいと思います。

皆さんの将来は、予測が困難な時代と言われていています。そのような時代にこれから生きてゆく皆さんには、柔軟な創造力や発想力が必要となってきます。難しい課題が生じたときにどうしたらよいかを考えるときに、常識にとられない創造性が必要になってくるのです。そうした常識にとられない発想ができる人間になってゆくには、どうしたらよいのでしょうか。三つのCが大切であると考えます。

第一に、Curiosity、知的好奇心を持つことです。ありふれたことでも、よく考えると不思議なことがあります。なぜ細胞は生まれるのか、なぜセロテープはくっつくのか、なぜ口笛を吹くと音が出るのか、なぜお風呂に入ると気持ちよいのか等々、考え出すと答えが知りたくなることが、皆さんの身の回りには沢山あります。そうした自分の中から発現した好奇心に駆られた学びを大切にすることで、あなただけの発見にたどり着くことができます。

第2に、Combination、異なる分野のモノやコトを組み合わせるという発想です。普通は思いつかないような2

つのモノを結び付けることで、新しい何かが生まれます。たとえば、1990年代初頭にドイツで始まった共同住宅は、高齢者や障害者と若者と共同生活をします。この共同生活により、高齢者や障がい者の孤独や社会的孤立を軽減するとともに、若者は住居の経済的な負担を軽減することができました。この発想は、普通結び付けられないような全く異なるものを組み合わせることで、今までなかった社会的に意義のある共同生活の在り方を作り出したのです。

第3に、Collaboration 他者との協働です。創造性は自分の中だけで起こるものと考えられがちですが、実は創造的に考えるうえでとても大切なのは、他者の考えを聴き交流することです。外の発想・考え方に触れることで、新たな刺激を受け、発想を拓げることができます。皆さんは、新しい人間関係を作り、できるだけ多くの人と考えを交流してください。そのことが、皆さんが常識にとらわれず考える力をつけることにつながります。

皆さんが、常識にとらわれずに創造性を高めてゆくために、この3つの C、Curiosity, Combination, Collaboration を大切にしてほしいと思います。この附属札幌中での3年間の学びにおいては、教科の学習、総合的な学習の時間、藤華祭という学校祭など、皆さんが常識にとられない発想力を生かし、伸ばす場が沢山用意されています。皆さんの3年間の学びが豊かな発想にあふれ、心動かされるものになるように祈っています。

保護者の皆様、お子様のご入学まことにおめでとうございます。心からお祝いの気持ちをお伝えしたいと存じます。私どもは微力ではありますが、お預かりしたお子様が、たくましく成長するよう、全力を尽くしてゆく覚悟であります。お子様が自分の力でこれからの人生を生き抜く力をつけられるよう、学校と家庭が手を携えて歩まなくてはならないと考えております。どうぞ、本校の教育にご理解を頂き、ご協力、ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

結びになりますが、新入生の皆さんの充実した中学校生活と健やかな成長を祈念し、式辞といたします。

## 不易と流行～本校の魅力～

### 副校長 岩淵 浩憲

コロナウイルス感染症の影響により様々な活動に制限がかけられた4年間は、これまで、附属札幌中学校が「大切にしてきたもの」について改めて見つめ直す機会となりました。「大切にしてきたもの」とは、本校の長い歴史の中で脈々と引き継がれ「不易」とされてきた「伝統」であり、また、その時々時代の背景等に応じて変化・進化し続けてきた「流行」とされる「学び」でもあります。本校は、「不易」と「流行」を両立させ、新しく良いものを生み出すことにより附属札幌中学校としての「魅力」をつくりあげてきました。

附属の「不易」とされる「伝統」の象徴の一つが、卒業式です。四方に紫白幕が張られ、それまで入学式でしか歩くことを許されない赤絨毯の上を、在校生の大合唱の中、入場し、最後は蛍の光を合唱しながら退場する。コロナ禍でできなかった本校伝統の卒業式を、今年、第76期3年生は、「伝統」に浸りながら本校を卒業していききました。



一方、附属の「流行」ともいえる「学び」においては、コロナ禍で確立した新たな活動等として、クロームブックなどの ICT 機器を取り入れながら、新たな「学び合い」へと進化を遂げてきました。

アフターコロナとなった昨年度は、「不易」と「流行」の大切さを実感しながら附属中の「魅力」について改めて見つめ直す 1 年でした。新年度を迎えるにあたり、本校の「魅力」について、生徒・教員・保護者でその価値を共有しながら、生徒が安心して生き生きと学ぶことのできる学校づくりを進めてければと思います。

## 【令和 6 年度附属札幌中学校教職員】

校 長 萬 谷 隆 一  
副 校 長 岩 淵 浩 憲  
特別支援学級教頭 佐 田 利 典  
主 幹 教 諭 杉 本 泰 範 (数学)  
特別支援学級主任 菅 原 祐 司 (特別支援)

### ○第一学年

主 任 A組 山 下 彩 (音楽)  
B組 小笠原 太 郎 (国語)  
C組 稲 吉 隼 人 (社 会)  
D組 渡 辺 拓 生 (特別支援)  
仲 鉢 大 地 (理科)  
大 水 恵 汰 (保健体育)  
講 師 橘 葉 子 (数学)  
ゲッツ 秀 子 (英語)  
井 坂 春 太 郎 (特別支援)  
上 野 さ くら (特別支援)  
井 上 悠 也 (特別支援)  
小田島 帆 希 (特別支援)

### ○第二学年

主 任 A組 田 口 祐 弥 (社会)  
B組 阿 部 永 (美術)  
C組 本 間 溪 (技術)  
D組 鈴 木 日 菜 (特別支援)  
柏 敬 太 (英語)  
藤 谷 明 日 香 (保健体育)  
小山内 日 和 (養護教諭)  
講 師 柳 谷 直 明 (国語)

### ○第三学年

主 任 A組 岩 本 和 馬 (数学)  
B組 高 橋 翔 太 (国語)  
C組 室 永 瑞 貴 (理科)  
D組 品 田 由 実 (特別支援)  
鹿 内 法 子 (技術家庭)  
小川原 周 太 (英語)  
講 師 小 林 和 久 (社会)  
森 越 千 恵 子 (理科)

参 事 鎌 塚 宗 一  
事務補 飯 田 由 佳  
校務補 平 野 裕 美  
校務補 高 橋 里 美  
用務員 田 塚 悦 章  
スクールカウンセラー 小 沼 豊  
益 子 香 織  
心の相談員 大 坂 紘 子

## 【新任の教職員の紹介】

今年度も新しく着任した11名の教職員を迎え、新たな気持ちで教育活動を推進していきます。今後ともよろしくお願いたします。

・特命教頭	佐田	利典	札幌市教育委員会より
・国語科教諭	高橋	翔太	札幌市立青葉中学校より
・社会科教諭	稲吉	隼人	札幌市立陵北中学校より
・理科教諭	室永	瑞貴	札幌市立東白石中学校より
・保健体育科教諭	藤谷	明日香	札幌市立啓明中学校より
・保健体育科教諭	大水	恵汰	
・国語科講師	柳谷	直明	芦別市立啓成中学校より
・社会科講師	小林	和久	札幌市立中央中学校より
・スクールカウンセラー	益子	香織	



## 本校からの御協力をお願い

例年、年度初めにお伝えしておりますが、以下の内容について改めて保護者の皆様に御確認いただき、御協力をお願いいたします。

## 本校行事、PTA活動への参画について ~共にあゆむ姿勢を大切に~

本校では、「共創の学校」の理念を大切にし、互いに学び合い、高まり合うことができる場としての学校を目指しています。生徒の学びの姿を中心とし、保護者と教師が同じ方向に向かって子どもたちの成長を見守っていきたく願っております。お忙しいとは存じますが、学校で行われる様々な活動に積極的に出席していただければ幸いです。保護者と学校が共にあゆむ姿勢を大切に本校行事、PTA活動への参画を今年度もお願いいたします。

なお、本校では安全管理の徹底のため、来校者には事務室にて入校手続きをお願いしております。保護者の皆様につきましては、入校証の提示によってその手続きを省かせていただいております。行事やPTA活動において御来校の際には、入校証を忘れずに御持参ください。

## 保護者連絡ツール「tetoru」について

本校では昨年度12月より、保護者連絡ツール「tetoru」を試験的に導入しました。今年度は本格に導入し、お子様の欠席・遅刻等の連絡、緊急時等の連絡手段はすべて「tetoru」を利用して行うことにします。また、学校だより等のお便りの発行につきましても、いわゆる紙ものでの配付を少なくし、



「tetoru」を利用して電子データで配信します。これに伴いまして、昨年度まで緊急時等の連絡手段として利用

していた「一斉連絡応答システム」を廃止します。

お子様が欠席または遅刻をする場合、8時20分までに連絡ツール「tetoru」で保護者の方から学校へ御連絡ください。特に本校は広域通学ということもあり、生徒の安全管理を考えますと始業時の登校状況の確認が必要です。朝のお忙しい時間帯とは思いますが、御理解と御協力をお願いします。なお、この時間が過ぎた場合につきましてはお電話で御連絡ください。また、従来通りお電話での連絡も承りますので、御家庭での状況に合わせて御使用ください。

なお、お子様が体調を崩したときなど、学校から早退しなければならない場合につきましては、保護者の方にお迎えをお願いしております。確実に保護者の方と連絡が取れるよう「家庭環境調べ」の保護者の連絡先につきましては、携帯電話等の番号を記載いただければ幸いです。

## 職員会議・研究日について

基本的に職員会議を月に1回、また、研究日を毎週水曜日に設定しております。特に研究日では、生徒の成長につながる授業や教育課程のあり方などについて全教員が議論を交わし、日々の授業に生かしています。教育研究校である本校の研究推進の中核となる時間となっております。



これらの会議は全職員が集って行っておりますので、毎年、緊急時以外の電話のお取り次ぎは控えさせていただきようをお願いしております。保護者の皆様におかれましては、趣旨を御理解の上、電話は御遠慮ください。どうぞ御協力をお願いいたします。なお、職員会議日および研究日の日付につきましては、学校だよりや月行事予定表で御確認ください。

## 個人情報ポリシーに関して御理解・御協力を

生徒および保護者の方々の権利利益を保護するために、「個人情報の保護に関する法律」および関連政省令、指針等に基づき個人情報保護に向けて取り組んでいます。個人情報につきましては、その使用目的の範囲内で収集し、適正な管理と保護に努めておりますことに御理解ください。また、以下の点につきまして御協力をお願いいたします。

### 研究紀要、学校だより、学年だより、ホームページ等における顔写真の掲載について

本校は研究推進校であり、生徒たちがよりよい学びを進めるための研究に取り組むことが使命の一つとなっております。研究紀要の発行などを通じて全道・全国に発信しておりますが、この時、研究成果を示すために、生徒たちが真剣に学ぶ姿を写真で掲載しております。また、この写真は、学校だよりやホームページ上にも転用されます。代表生徒の作文や、各種大会およびコンクールの結果報告等も含め、生徒たちの学ぶ姿、活動する姿が掲載されることを御承知ください。

なお、学年だよりでは、生徒たちの作文を写真付きで掲載させていただく場合があります。学年だよりは外部には配付せず、該当学年の御家庭にのみ配付するものです。御理解いただければ幸いです。

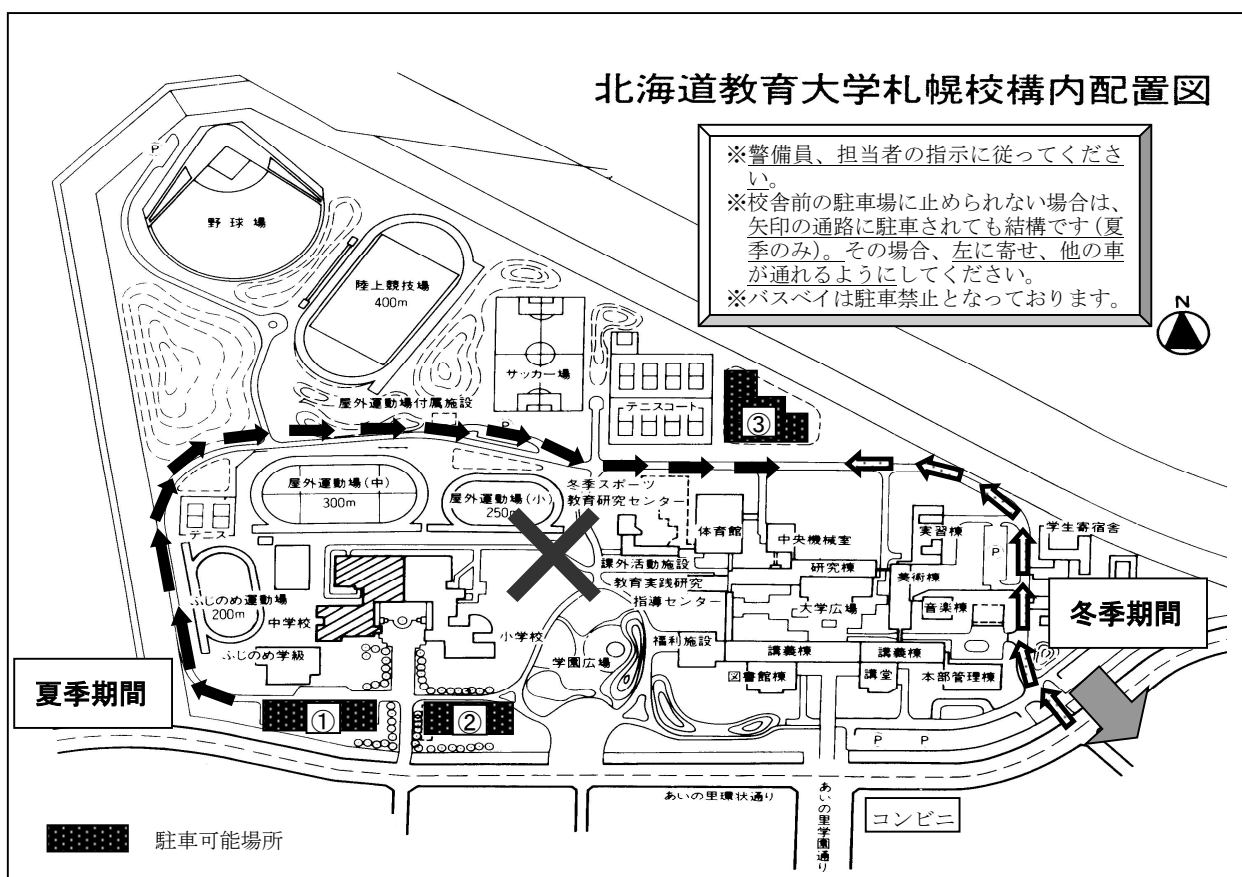
個人情報に関わる本校の方針と掲載の御依頼をさせていただきましたが、様々な御事情により、顔写真の掲載等に不都合な御家庭がありましたら、主幹教諭(杉本)まで、御連絡いただきますようお願い申し上げます。



## 本校駐車場の利用について

保護者の方が本校に来校される場合、多くの方が自家用車を使用されています。全校行事や小学校と行事が重なるときなどは駐車場が混雑します。夏季期間（積雪前）の駐車場の利用について以下のようにお願いいたします。

- 警備員や係員の指示に必ず従ってください。
- 図の①、②の駐車場がいっぱいの際は **➡** に沿って通路の左側に寄せて縦列駐車をお願いします。くれぐれも左右両側に駐車しないようお願いします（両側に駐車すると進めなくなります）。
- 縦列駐車がいっぱいになった場合は、大学テニスコート横の③の駐車場を利用してください。
- お帰りの際は矢印の方向に一方通行でお進みください。
- X印及びバスベイには進入・駐車しないようお願いいたします。



冬季期間（積雪時）は、**➡**の部分は通行できません。

そのため、**⇄**の部分を通して③に御移動いただき、お帰りの際も**⇄**の逆方向へ御移動ください。

ただし、**➡**に沿って駐車することはできませんのでご注意ください。

# 4月の行事予定

日(曜日)	行事等の予定	下校バス時刻(予定)
5(金)	新任式・始業式	(2年)麻)14:10【優】栄)14:08【路】 (3年)麻)15:40【優】栄)15:45【路】
6(土)	※部活動不可	—
7(日)	※部活動不可	
8(月)	第79回入学式	(2・3年)16:20
9(火)		16:20
10(水)	【研究日】ジャージ受取(1年生)／委員・専門局員選出	16:20
11(木)	全学年授業参観・学級懇談会	14:10
12(金)	3年生学カテスト	16:20
13(土)	※部活動不可	
14(日)	※部活動不可	
15(月)	【職員会議】全学級写真撮影(全学年)／委員会・専門局会(三役決め)	15:20
16(火)	全国学力・学習状況調査質問紙調査(3年生)	16:20
17(水)	【研究日】幹旋教材販売(朝)	16:20
18(木)	全国学力・学習状況調査(3年生)	16:20
19(金)	前期承認式／委員会・専門局会	16:20
20(土)	※部活動不可	
21(日)	※部活動不可	
22(月)	教育相談①	16:20
23(火)	合同体位測定(全学年)／教育相談②	16:20
24(水)	【研究日】色覚検査(1年・希望者のみ)／委員会・専門局会	16:20
25(木)	教育相談③／色覚検査(1年・希望者のみ)／尿検査2次	16:20
26(金)	色覚検査(1年・希望者のみ)	16:20
27(土)	午前:部活動結成集会/部活動 午後:PTA・ふじづる会総会/PTA学年委員会 PTA常務委員会/PTA・ふじづる役員会	(1年)麻)11:08,11:38【路】栄)11:35【路】 (2・3年)麻)12:00【優】栄)12:10【路】
28(日)	※部活動不可	
29(月)	※部活動不可	
30(火)	委員会・専門局会／色覚検査(1年・希望者のみ)	16:20